

星の子だより



第9号 2012年2月発行
東北大学病院病後児保育室
星の子ルーム

今年の冬は冷え込みが一段と厳しく、かすかな日差しに癒される日が続いています。

星の子ルームは1月16日にこれまでの保育室から右隣の部屋へ移転をいたしました。移転に際してのみなさまのご協力に感謝いたします。子供達がゆっくと体を休めてまた元気に保育園や学校に行けるよう丁寧な看護・保育に努めてまいります。本年もよろしくお願いいたします。




保育室の紹介



保育室が移転して半月がたち、私たちスタッフもようやく新しい保育室での動きに慣れてきました。横開きのドアをあけると前室があり、念願だった子供用トイレと沐浴台を備えた部屋があります。今までのように一般のトイレに急いで行くこともなくなり、また便がゆるい場合はおしりを洗ってあげることもできます。前室の奥にある保育室は以前より広く明るくなり月齢差がある子供達でものびのびと過ごすことができるようになりました。

保育室ではさっそく様々な遊びを楽しむ子供達の姿がみられます。今までは体調がすぐれない子供やまだ午前睡が必要な赤ちゃんが眠っている横で、他の子は静かに本を読んだりDVDを見ることしか出来なかったのですが、アコーディオンカーテンから仕切り扉に変わり、ある程度音を遮ることが出来るようになったので、保育室でNo.1人気のプラレールを部屋いっぱい広げて作っても、隣のコーナーでままごと遊びを楽しんでも、仕切り扉の向こうでは0歳の赤ちゃんがすやすやと眠る空間を確保できます。

広がった保育室で、お父さん、お母さんを待っている間、ゆったりと安心して過ごすことができるように、今まで以上に月齢差や体調など、一人一人に合わせた看護、保育を心がけていきたいと思えます。

(松田) 



あたたかな保育室

トイレは保育室のすぐそばにあるよ



あんぱんまんトイレ

病気のこといろいろ...

今回は赤ちゃんの病気で、意外に多い耳のトラブル、急性中耳炎についてお話します。生後6カ月から5歳くらいまでの子供に多くみられます。

○ 原因は...?

急性中耳炎は主に風邪などの炎症が原因で、膿が鼻の奥の方にある耳管と呼ばれる管を通して中耳に広がり炎症を起こすもので、風邪の合併症として子供に非常に多い病気です。

○ どんな症状なの?

風邪の引き終わりに急に高い熱が出たり、微熱が続く場合や、機嫌が悪い、一定の時間をおいて大泣きしたり泣き止んだり、夜泣きをする、ミルクの飲みが悪い、しきりに耳に手を持って行く、首を振るといったしぐさや様子が見られます。膿のような黄色い耳だれが出ることもあります。

○ どんな治療?

軽いうちであれば抗生物質の内服で炎症が治まり、いたみも和らぎます。ただ途中で内服をやめると急性中耳炎が長引いて浸出性中耳炎に移行したり、慢性化する原因になります。必ず医師の指示にしたがってください。

中耳炎には風邪が原因でかかることが多いので、かぜのケアを怠らないことが大切です。

ノーズクリーナーなどを利用し、たまった鼻水はこまめにとってあげましょう。

(内池) 



お知らせ



☆事前診察について

かかりつけ医の受診が困難な場合には当院小児科外来で受診が可能で、「かかりつけ医連絡票」に代わる「病状連絡票」が作成されます。診察のご予約は当保育室で受け付けています。ただし、伝染性疾患が疑われたり、発熱・嘔吐・下痢などでぐったりしている等の症状がある場合は当保育室の利用も難しいため、事前診察を受けられない場合もありますのでご相談ください。

☆駐車場について

駐車場は送迎時のみ利用することができます。医学部入口(国道48号線沿い・良陵会館向かい)から入った駐車場をご利用ください。その際ゲート係員に当保育室を利用することを申し出てください。ホームページに詳しい地図を載せていますのでご参照ください。

※現在、改修工事のため、病院正面入り口前のエレベーターをご利用ください。

☆予約・キャンセルについて

予約受付時間は7:15~18:00です(保育時間は7:30~18:00)。キャンセルされる場合は当日の朝8:30までにご連絡ください。

◎予約・問い合わせ 022(717)7819

◎メールアドレス hoshinoko@bureau.tohoku.ac.jp

◎ホームページ <http://www.morihime.tohoku.ac.jp/hurdling/hoshi.html>